

令和7年度

教育指導の重点及び学校経営計画

学校番号	9	学校名	岐阜商業高等学校（全日制）
------	---	-----	---------------

社会的役割等 (スクール・ミッション)	各界のリーダーを輩出してきた、商業教育をリードする伝統ある商業高校として 校訓「不撓不屈」のもと、課題探究心と実践的な行動力の育成、高度な知識や技術の修得を通して 地域経済の発展に貢献できる人材の育成を目指す学校		
学校教育目標 (教育方針)	「商業教育」「部活動」「進路達成」への真摯な取り組みを通じてビジネスリーダーたる資質と素養を育み、予測困難な未来をたくましく生き抜く力を身に付けた生徒の育成を目指す。		
3つの方針 (スクール・ポリシー)	どんな生徒を 育てたいか 【GP】	・「ふるさと岐阜」への誇りと愛着を育み、清く、優しく、たくましく生きていこうとする心を有する生徒 ・ビジネスに関する確かな知識・技術を身に付けるとともに、将来、実際の経営活動の場面において、主体的に活用できる能力基盤と素養を有する生徒 ・地域経済の発展の担い手及び、社会貢献に対する強い意識を育むとともに、次世代のビジネスリーダーになる高い志を有する生徒	
	生徒をどう 育てるか 【CP】	・課題発見力、課題解決力を育成するために、すべての教育活動において、「主体的・対話的で深い学び」の推進と創造性を育成 ・地域や社会など多様な人々と連携・協働して、実学を実践するとともに、地域を創生する意識の涵養と、自己有用感を高める教育活動を推進 ・実社会や職業との関わりを通して、高い職業意識や規範意識を育むとともに、共生社会に不可欠なコミュニケーション能力の育成するための教育課程を編成	
	どんな生徒を 待っているか 【AP】	・基礎学力を有するとともに、高い志と目的意識をもって学校生活に臨む意欲のある生徒 ・将来、地域創生のために、ビジネスに関する専門的な知識・技術の習得を目指すよう学習意欲が旺盛である生徒 ・部活動、生徒会、地域等と連携した探究活動など、仲間とともに積極的に取り組む意欲に溢れるとともに、自らの伸長のために果敢に挑戦しようと意欲のある生徒	
学校の抱える課題	・ 高度な資格取得を目標としていることと併せて、部活動で大会成績の結果が求められる。文武両道の実現に向け、学校としてどのように対応すべきか。 ・ 少子化の影響を受けて、商業教育を学ぶ生徒数が減少していく中で、商業教育の魅力をどのように伝えるか。また、これからの商業教育で学ばせるべきスキルや知識は何か。 ・ 残業時間が月４５時間を超える教職員が多く、働き方改革が思うように進まない現状をどのように打開するか。		
教育指導の重点	領域・分野	今年度の具体的な重点目標	
	学習指導	・ 基礎学力の定着と課題の発見・解決のために、主体的、協働的に学習に取り組む生徒を育成する。	
	生徒指導	・ さまざまな社会的課題に対応するため、ビジネスマナーを考えさせ、校則の在り方や指導方法を検討し常に改善しながら相手を気遣ったコミュニケーション活動ができ、差別や偏見を排除できる生徒の心を育てる。 ・ 交通安全、情報モラル、いじめなどの問題に対し、未然に防ぐための指導を行うとともに、生徒の規範意識の向上を図る。 ・ 学校生活により良く適応できるよう組織的な支援を行う。	
	進路指導	・ 継続的な学習習慣を身に付け、進路実現のために必要な知識・技術を習得できるよう支援する。 ・ 生徒の適性を生かし、社会での役割や自己の在り方を考えて進路選択・決定できるよう組織的な進路指導の充実に努める。	
	特別活動	・ 本校の教育の三本柱の一つである「部活動日本一」の達成を目標とするとともに、他校にはない「一流の（部）活動」を目指す。 ・ 生徒会活動やホームルーム活動および部活動の充実により、各場面におけるリーダーを養成するとともに、自発的に活動をすすめる態度の育成を目指す。	

年度目標				年度末評価(自己評価)			
領域分野	3つの方針・具体的な重点目標の達成に必要な 具体的な取組・方策	県教育振興 基本計画での 位置付け	達成度の判断・判断基準 あるいは評価指標	取組状況・実践内容 評価項目の達成状況等	評価 A. B. C. D	成果と課題	総合 評価 A. B. C. D
学習指導	・探究型授業の導入による創造力・課題発見解決力・実践力・協働力・社会適応力の育成。	施策Ⅳ-20	・外部評価「探究の時間の内容は自分にとって有意義である」について肯定的な意見が90%以上となることを目標とする。 ・外部評価「学校は、授業や家庭学習への指導・支援等をおとして、一人一人の能力に応じた指導を行っている。」について肯定的な意見が90%以上となることを目標とする。 ・外部評価「学校では、体験学習を重視し、職業観・勤労観を持つように配慮している。」について肯定的な意見が90%以上となることを目標とする。				
	・学習習慣を定着させる。主体的に学習に取り組む姿勢を身に付けさせる。	施策Ⅳ-23					
	・地域や企業との連携、体験学習を通した協同的な学習の充実。商品開発、サービス企画などによる創造的な学習の充実。	施策Ⅱ-14					
生徒指導	・生命の安全と人格の尊重とマナーの向上	施策Ⅲ-19	・外部評価「本校では、生徒の安全・衛生面に配慮し交通事故や痴漢防止等の安全指導を行っている」について肯定的な意見が90%以上となることを目標とする。 ・外部評価「学校は、高校生としてのマナーや社会規範を身に付けさせるための指導を行っている」について肯定的な意見が90%以上となることを目標とする。 ・各分野において専門家などを招聘し講話を行う。				
	・校則やビジネスマナーの研究および検証	施策Ⅱ-13					
	・各種講話および各種アンケートを実施し、生徒の悩み等を早期に発見し、対応を図る	施策Ⅰ-3					
進路指導	・志望動機や小論文指導の指導体制の確立	施策Ⅱ-8	・外部評価「学校は、生徒の進路希望に沿った適切なアドバイスをしている。」について肯定的な意見が90%以上となることを目標とする。 ・外部評価「学校は、進路説明会等、保護者が必要とする進路情報を提供する場を設けている。」について肯定的な意見が90%以上となることを目標とする。				
	・進路の手引き、ホームルーム活動、教育プラットフォームを利用した情報提供と意識の高揚	施策Ⅱ-9					
	・進路ガイダンスや企業研究会などを通した職業観の育成。	施策Ⅱ-13					
特別活動	・生徒自身が各大会等で上位を目指すとともに、仲間や活動環境に対する配慮を意識した活動を目指す	施策Ⅳ-25	・外部評価「学校では、地域社会との交流の機会を設け、社会に開かれた学校を目指している」(学校独自項目)について肯定的な意見が90%以上となることを目標とする。 ・外部評価「学校の部活動は、適切な管理体制のもとに行われている」について肯定的な意見が90%以上となることを目標とする。				
	・生徒会活動の活性化のため、執行部会の充実を図るとともに社会貢献活動の継続および企画をおしてリーダーの養成、自主的・実践的態度の育成を目指す	施策Ⅰ-4					
	・本校の部活動ガイドラインの遵守を目指して活動を続けるとともに、年間・月間計画の生徒、保護者への周知徹底を図る	施策Ⅳ-27					

来年度に向けての改善方策等

実施日：令和8年 月 日

学校関係者評価

実施日：令和8年 月 日